刻石流水

京都府立東宇治高等学校
第２学年　学年通信
第　１　号
令和７年４月８日

～受けた恩義は心の石に刻み、施したことは水に流す ～

学年部長　６組　川越俊輝（数学）

「夏を制する者は受験を制す」という言葉を耳にしたことはありませんか？４月からさまざまな勉強方法や参考書と向き合い、自分に合った学習習慣が定着したその先にやっと、「夏を制する者」としてのスタートラインが見えてきます。まず今日の帰り道、書店の大学受験参考書コーナーへ足を運んでください。そうすると、夏に向けた準備を始めようとしている同じ境遇の高校生に出会うことでしょう。意欲高く、自らの意思で進もうとしている人を目前に、不確かであった自分の目標が強固なものに変わる感覚を味わうことができるでしょう。

今できるかが後の大きな差に。高校２年生、挑戦を続けてください。

旧１年１組　　長澤涼介（保健体育）

４月の人事異動で西城陽高校に転勤することとなりました。皆さんと青春を謳歌し、来年には卒業を見届けたいと思っていた矢先、とても残念です。「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。新たなクラス、環境に戸惑いや不安などがあるかもしれません。その時にこの言葉を思い出してください。置かれた環境で精一杯頑張りぬく力というのがこれからの社会で生きていくための力となります。長澤も置かれた環境で咲けるように、目の前のことを必死になって頑張り続けます。場所は違いますが、一緒に目標に向かって頑張り続けましょう！

１組　　近藤和郎　（国語）

近藤和郎（こんどうかずお）です。よろしくお願いします。先日、私は母校の吹奏楽部の OB 会に参加してきました。久しぶりに校歌を歌ったのですが、それは本当に感動的なひとときでした。というのも、白髪のご年配の方から金髪の若者まで、世代を超えた人たちが同じ歌を一緒に歌い、まるで一つになったかのような光景だったからです。「愛校心」という言葉がありますが、私は皆さんにも、ぜひ今いるこの環境を大切にし、愛してほしいと思います。それだけではなく、周りの仲間が学校を愛せるような、そんな温かい雰囲気を自分たちで作っていってほしいのです。皆さんは、今この学校の“主役”の学年です。一緒に、もっと素敵な学校をつくっていきましょう。

２組　谷口博一　（数学）
51期生の生徒諸君、進級おめでとうございます。令和７年度も２組の担任としてお世話になります。これまで生きてきた60年で蓄えた熟技を、これからの60年にどう生かすかが問われます。その初めの１年として、出し惜しみすることなく全力で臨みたいと考えています。担当教科は数学となります。内容が深まり、より難しくなります。しかし、超えるべきハードルのひとつとして頑張りましょう。２年生というタイミングは様々なことにチャレンジし、自分自身を進歩させることができます。周囲の友人と納得のいく思い出を共有することができます。そして、広い視点に立って観たとき、世界の幸せを考えられる基礎を築いてくれます。失敗することがあるかもしれませんが、それも我々を成長させる石だと考えましょう。「みらいを明るくできる人」この言葉が私たちの背中を押してくれるでしょう。

３組　蔵田遥　（地歴公民）
一度しかない人生の中の、一度しかない高校２年生が始まります。最近、新しいことを勉強するときに、前提となる知識は高校時代に土台が作られたものだ、と気づくことが多くなりました。受験で使う使わない、で、自分を構成していく知識を制限するのはもったいない。新しいことを知ることで引き起こされるパラダイムシフトは、人生を豊かにしてくれると思います。春という季節が訪れた時、わくわくする気持ちの陰に、ちょっと不安だったりさみしい気持ちを感じてしまう私が、きっと同じことを感じているであろう皆さんに、春によく唱えている短歌を紹介したいです。「空っぽでよかったいつか充たされて溢れる日々のしあわせを知る[1]」

４組　小野輝弥　（英語）
51期生の皆さん、進級おめでとうございます。今年も皆さんと共に成長していけることをとても嬉しく思います。「２年生は中だるみの学年」なんて事を中学校の時に言われたことがあるかもしれません。確かに、通い慣れた通学路、見慣れた友達、知っている先生といった環境で１日を流れ作業で過ごしていると、どんどん中だるみしていきます。様々なことに挑戦する気持ちを忘れず、右肩上がりの学年にしていきましょう！先日自宅で高校時代の学年通信を見つけました。学年通信のタイトルはBreakthrough（飛躍的進歩、大発見）です。この単語が皆さんのこれからの１年にぴったりの単語になることを願います。

５組　川本容子　（国語）
今日から２年生としての生活がスタートしますね。どのような一年にしたいと思いますか。「部活動でレギュラーになりたい」とか、「１年生の時より成績を上げたい」など、それぞれの目標があると思います。自分の思い描く理想の姿に近づくために、まず今日できることから始めましょう。それはあなたにとって楽しいことであるはずです。
「喜びはなにかの中にあるのではなく、私たちの内側にある。」（リヒャルト・ワーグナー）

７組　朱久美子　（英語）
春のエネルギーはすごい。新しい教室、新しい先生、新しい教科書。景色が変わり、気持ちも新たになる。いつもと違うことをしようかなと思える。春には人を動かす力がある。でも春の１番凄いところは、「時間は流れている」と気づかせてくれるところ。それまで「なんとなく」「永遠に」続くように思われた、毎日。ルーティーンをこなす日々。でも、確実に時は流れ、みんなは進級するのです。高校生として過ごせる時間、実はそんなに長くありません。そのことに気付けた人は、強い。さぁ、みなさんの番が来ました。あなたはどこに向かって走るのか。今こそ、誰も知らないあなたを見せる時です。

[1]嶋田さくらこ著.短歌なzine「うたつかい」第３号巻頭歌.2021